

Copyright©2007  
All Rights Reserved – Printed in China

W466/W566 ノートブック 取扱説明書

初版：2007/04

このマニュアルではお持ちのノートブック コンピュータの設定と操作方法を説明します。マニュアルでの情報は正確にチェックされており、事前の通知なしに、定期的に改訂や変更することがあります。

電子的、機械的、光学的、手書き、その他の手段により本書の内容を複写、伝送、転写、検索可能な形での保存、他言語への翻訳、コンピューター言語へ変換することを禁止します。

#### 商標

製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標で、本書では識別目的で使用されます。

Microsoft<sup>®</sup>、MS-DOS、Windows<sup>®</sup>、Windows<sup>®</sup> Sound System はMicrosoft 社の商標です。

Intel<sup>®</sup>、Centrino™、Centrino Duo™、Pentium<sup>®</sup> M、Banias、Calexico は Intel 社の登録商標です。

Sound Blaster、Sound Blaster ProはCreative Technology社の商標です。

その他のブランドまたは製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標で、本書では識別目的で使用されます。

## 安全にお使いいただくために

本製品を安全にご使用いただくために、次の安全のための注意を必ず守ってください。

### W466/W566 ノートブックを使用する場合



注意: コンピュータを長時間身体の上に乗せて使用しないでください。作動時間が長くなると、コンピュータ底部に熱がこもります。コンピュータを身体に近づけすぎると、不快感を覚えたり、火傷を負ったりする場合があります。

- お客様ご自身でこのコンピュータを補修しないでください。必ず取り扱い上の指示に従ってご使用ください。
- バッテリーをポケット、かばん、あるいは金属物質（車の鍵など）と接触してバッテリー末端がショートする恐れのあるその他の入れ物に入れしないでください。電流が流れることにより高熱になり、火傷の原因となる場合があります。
- ACアダプタの電源ケーブルの上にモノを乗せしないでください。また人の通りが多い場所にケーブルを配置しないでください。
- コンピュータ使用中、あるいはバッテリー充電中は、ACアダプタは机の上や床の上など通気の良い場所に置いてください。ACアダプタを紙やその他のモノで覆うと通気を妨げます。またキャリーケースに入れたままの状態ACアダプタを使用しないでください。
- ノートブックの通気孔に異物を挿入しないでください。ショート、火災、電気ショックの原因となります。
- ノートブックメーカーが提供するACアダプタとバッテリーだけをご使用ください。他のタイプのACアダプタやバッテリーをご使用になると、火災や爆発の原因となります。
- バッテリーは正しく取り扱わなければ爆発する恐れがあります。
- 同じタイプのバッテリーか、メーカーが推奨するバッテリーだけをご使用ください。

- 使用済みのバッテリーはメーカーの指示に従って処理してください。
- ノートブックを電源に接続する前に、ACアダプタの電圧と使用する電源の電圧が一致していることを確認してください。
  - ほとんどの北米、南米、韓国および台湾など一部の極東地域では115 V/60 Hzです。
  - 東日本は100 V/50 Hz、西日本は100 V/60Hzです。
  - ほとんどのヨーロッパ、中東、極東では230 V/50 Hzです。
- ACアダプタを延長コードに接続する場合は、延長コードに接続するすべてのデバイスの合計アンペア数が延長コードの合計容量を超えないようにしてください。
- ノートブックからバッテリーを取り外す場合は、まずシステムの電源を切り、コンセントからACアダプタを外した後バッテリーを外してください。
- 電気ショック防止のために、雷が鳴っているときにケーブルを接続/外したり、本製品を補修を行ったり、再構成したりしないでください。
- バッテリーを火の中に投げ込むと、爆発する恐れがあります。使用済みバッテリーの処理については、お住まい地域の行政機関にお問い合わせください。
- ノートブックは安定した場所に設置してください。

- 旅行の際はノートブックは手荷物としてお持ちください。このノートブックはX線セキュリティ装置に通すことはできますが、金属探知機にはかけないでください。ノートブックを手荷物として携帯する場合は、ノートブックの電源を入れるよう求められたときのために充電されたバッテリーを準備してください。
- ノートブックからハードディスクを外して旅行される場合は、ドライバは布や紙などの絶縁素材に包んでください。ハードディスクを手荷物として携帯する場合は、ノートブックに装着するよう求められる場合があります。ハードディスクはX線セキュリティ装置に通すことはできますが、金属探知機にはかけないでください。
- 旅行の際はノートブックを頭上のモノ入れに入れると安定しないため、必ずお手元にお持ちください。ノートブックを落としたり、強い振動を加えたりしないでください。
- ノートブック、バッテリー、ハードディスクはホコリ、汚れ、食べ物、液体、極度な温度、および直射日光から保護してください。
- ノートブックを極端に温度や湿度が変わる場所に移動させると、ノートブックの外部または内部に結露を生じる場合があります。ノートブックを保護するために、使用を継続する前に湿気が完全に蒸発するのに十分な時間を空けてください。

**注意事項：** ノートブックを寒い場所から暑い場所、あるいはその逆に移動させる場合は、ノートブックの電源を入れる前にノートブックが環境に適應できるだけの十分な時間を空けてください。

- 電源コードを外す際は、コードではなくコネクタまたははずみ防止ループを持ってください。コネクタを持って外すときには、接続ピンが曲がらないように均等の力を加えるようにしてください。また電源コードを接続する前に、両コネクタが正しい方向を向いていることを確認してください。
- ノートブックのお手入れをされる前には、まず電源を切り、電源から電源コードを外し、バッテリーも外してください。

- 内部コンポーネントの取り扱いには十分にご注意ください。コンポーネントを取り外す場合は、接続ピンではなくその端を持ってください（メモリモジュールなど）。



電話装置をご使用になる場合は、火災、電気ショック、ケガを未然に防止するために、次の注意を含め、必ず安全のための注意にしたがってください。

- 本製品を風呂場、洗濯場、台所、洗面所、濡れている床、プールなど、水の近くでは絶対にご使用にならないでください。
- 電気ショックの原因となりますので、落雷時にはコードレス電話をご使用にならないでください。
- ガス漏れが生じた場合は、ガスの近くでは電話をご使用にならないでください。

#### 警告：保証の取り消し

- \* バッテリーは正しく取り扱わなければ、爆発する危険性があります。同じタイプまたは互換性のあるタイプのバッテリーだけをご使用ください。
- \* 使用済みのバッテリーはメーカーの指示に従って処理してください。
- \* 割れたり、深い引っ掻きキズがあったり、品質の悪いディスクをご使用になると、光学ディスクドライブが故障し、ディスクに保管されていたデータが壊れる場合があります。このようなディスクはドライブが高速で作動するうちに壊れてしまいますので、保証を受けることはできなくなります。

## 法規

### FCC

この装置は、FCC 規制のパート 15 に準拠したクラス B デジタル デバイスの制限値に適合していることが、テストにより確認されています。これらの制限値は、一般家庭での有害な電磁干渉に対する妥当な保護を提供するように設計されています。

本デバイスに無断で変更または改造を加えると、この装置を操作する権利が失われます。本デバイスはラジオ周波エネルギーを発生、使用し、さらに放射する可能性があります。指示にしたがってインストールおよび使用しなければ、ラジオ通信に有害な障害を与える場合があります。ただし、これは正しくインストールした場合での電波障害が皆無であることを保証するものではありません。このデバイスがラジオやTV 受信装置に有害な障害を与える場合は（デバイスの電源を一度切って入れ直すことにより確認できます）、障害を取り除くために次の方法にしたがってください。

- 受信アンテナの方向や位置を変えます。
- 本装置とレシーバをできるだけ離れた位置に配置します。
- 本装置とレシーバの電源を、それぞれ別のコンセントに接続します。
- 販売店または経験のあるラジオ/テレビ技術者にお問い合わせください。
- この装置に接続するすべての外付けケーブルはシールドされたものでなければなりません。

PCMCIAカードへのケーブル接続については、オプションの取り扱い説明書またはインストールの手順をご参照ください。

### FCC

#### 第68条警告

本装置はFCC規定68条に準拠します。コンピュータ底部に貼ってあるラベルには、FCC規定番号、Ringer Equivalence Number (REN) などの情報が記載されています。電話会社から要求された場合は、この情報を提供する必要があります。

FCC規定68条登録番号： 6CTTAI-25876-FB-E


#### REN: 0.8B

RENは電話に接続する装置の数を決定し、その電話に通話呼び出しが合った場合にこれらの装置に呼び出し音を鳴らせるために使用します。一部の地域を除くほとんどの地域において、全装置のRENの合計数が5を超えてはなりません。RENが決定する回線に接続する装置数を確認するためには、お客様の通話エリアのRENの最高数についてお近くの電話会社にお問い合わせください。

モデムが電話ネットワークを妨害すると、お住まい地域の電話会社は一時的にサービスを中断する場合があります。可能な場合は、あらかじめ電話会社より通知されます。ただし、あらかじめ通知することができない場合は、できるだけ早い時期に通知されるはずですが、FCCにより、お客様には苦情を申し立てる権利があります。

電話会社はファシリティ、装置、操作、手順に対し、お客様の装置の正しい作動に影響を与え得るような変更を加える場合があります。その場合は、電話サービスが中断しないよう対策を取る事ができるよう、あらかじめ通知されます。

## CE (ヨーロッパ)

この記号  は、W466/W566 ノートブックコンピュータがEMC指令および欧州連合の低電圧指令に準拠していることを示しています。またこの記号は、W451Uが次の技術規格に適合していることも示しています。

- EN 55022 - 情報技術機器の無線妨害のための限度値および測定方法
- EN 55024 - 情報技術機器 - イミュニティ特性 - 限度値および測定方法
- EN 61000-3-2 - 電磁両立性 (EMC) - 第3部: 制限 - 第2節: 高長波電流発生限度値 (1 相当たりの入力電流が 16A 以下の 機器)
- EN 61000-3-3 - 電磁両立性 (EMC) - 第3部: 制限 - 第3節: 入力電流16A以下の機器の低電圧電源システムにおける電圧変動とフリッカ限度値
- EN 60950 - 情報技術機器の安全性



注意: EN 55022エミッション規格には2つのクラスがあります。

- クラスAは商用使用に適用されます
- クラスBは住居使用に適用されます

## BSMI (台湾)

ほとんどのノートブックコンピュータは、經濟部標準檢驗局 (BSMI) よりクラスB情報技術装置 (ITE) として分類されています。



R32323

BSMI規格に合格している製品であることを示すために、上記の記号を表記する必要があります。



CCC (中国)

• W466のみ

クラスAシステムには、法規ラベルの近くに次の警告が表示されます。

警告: 本製品はクラスA製品です。本製品は家庭内において無線妨害を起こす場合があり、このような場合、ユーザーは必要な対処を求められることがあります。

## Macrovision の著作権保護について

本製品には、米国特許およびその他の知的所有権により保護されている著作権保護技術が組み込まれています。この著作権保護技術を使用するには、Macrovision からの認証を受けていなければなりません。またMacrovision から許可を得ている場合を除き、家庭およびその他の制限された表示目的にしか使用することができません。リバースエンジニアリングおよび解体は禁止されています。



## はじめに

本製品をお買い上げいただきありがとうございます。このノートブックにはポータブル コンピュータ技術における最新の機能が搭載されています。洗練されたアーキテクチャに最新のエルゴノミクス技術が組み込まれており、コンパクトかつ強力、そして使いやすさに優れたコンピュータを実現します。このコンピュータはビジネスで、ご家庭で、そして外出先で、さまざまな用途にご使用いただけるよう設計されています。

本書にはこのノートブックの設定および使用方法と、全機能についての情報が記載されています。

# 目次

安全にお使いいただくために .....	I
法規 .....	III
はじめに .....	V

## 第1章 基本操作

1.1 バッテリーの使い方 .....	02
1.2 AC アダプタの接続 .....	03
1.3 ノートブックの電源オン/オフ .....	03
1.4 W466 / W566 デバイスドライバのインストール .....	04
1.5 ラウンチキーの使い方 .....	04
1.6 キーボード機能 .....	05
1.7 タッチパッドの使い方 .....	08
1.8 ストレージ .....	09
1.9 カメラ .....	10
1.10 グラフィックディスプレイ .....	10
1.11 W466/W566 ノートブックの保護 .....	12

## 第2章 周辺機器の接続

2.1 USBポートの使い方 .....	15
2.2 VGAポートを介して外付けモニタを接続する .....	15
2.3 ポートレプリケータ コネクタの使い方 (W566のみ) .....	16
2.4 LANポートの使い方 .....	17
2.5 モデムポートの使い方 .....	17
2.6 IEEE 1394ポートの使い方 .....	18

2.7 PCI Expressカード/Newcard .....	18
2.8 Sビデオポートへの接続 .....	19
2.9 SD/MMC/MS/MS Proカード .....	19
2.10 Bluetooth (オプション) とワイヤレスデバイスの使い方 .....	20

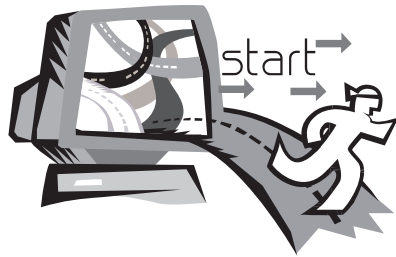
## 第3章 トラブルシューティング

3.1 よく聞かれる質問 .....	22
--------------------	----

付録A W466の仕様 .....	24
付録B W566の仕様 .....	26
付録C サービスセンター .....	28







## 第1章 基本操作

この章では、AC アダプタの接続および電源をオン/オフにする手順、タッチパッド、キーボードホットキー、バッテリーの使い方を含む、コンピュータの操作方法について説明します。コンピュータを使い慣れていない方のために、新しい機能のいくつかを紹介します。

## 1.1 バッテリーの使い方

この W466/W566 ノートブックには、次のいずれかの方法で電源を供給することができます。

- ACアダプタをコンセントに接続する
- リチウムイオン バッテリーを使う

できるだけACアダプタを使用し、ACアダプタを使用できないときに限りバッテリーをお使いください。充電可能なリチウムイオン バッテリーは、外部電源から供給を受けられないときにノートブックを操作できるようにします。ACアダプタによりコンピュータを使用すると、内部バッテリーが再充電を開始します。充電中はインジケータパネルの充電アイコンが点灯します。バッテリーが完全に充電されたら、充電アイコンは消えます。コンピュータの電源を切った状態でリチウムイオン バッテリーをクイック充電すると、2.5 時間かかります。一方、標準充電の場合は 3.5 時間かかります。

- FAXモデム、ビデオ、オーディオ装置を使用すると、コンピュータの電力消費量が増加します。
- モニタの明るさを下げると電力を節約することができます。
- バッテリーが完全に充電されていない場合は、バッテリーをご使用になる前に充電を完了してください（ACアダプタをコンセントから抜かないでください）。ご使用前にバッテリーの状態を調整されることを強くお勧めします。
- リチウムイオン バッテリーは故障しやすいため、他の電源アダプタを使って充電しないでください。爆発の危険性があります。

### ▶ バッテリーの交換 ◀

バッテリーは使用を重ねる毎に徐々に消耗します。バッテリーの容量が大幅に低下したときには、バッテリーを交換されるようお勧めします。

バッテリーを交換するには、次の手順に従ってください。

1. コンピュータの電源を切ります。
2. コンピュータを閉じて、コンピュータを裏返しにします。
3. 横のバッテリーラッチ (1) を左にスライドさせます。バッテリーが外れるまでラッチは押さえたままにしてください。
4. 新しいバッテリーをコンパートメントに挿入する前に、バッテリーが正しい方向に向けられていることを確認してください。

注意: バッテリーの残量が 95% 以上ある場合は、100% まで充電することはできません。バッテリーメーカーはバッテリーを長くご使用いただくために、頻繁に充電されることを推奨しています。

### ▶ AC アダプタの取り扱い ◀

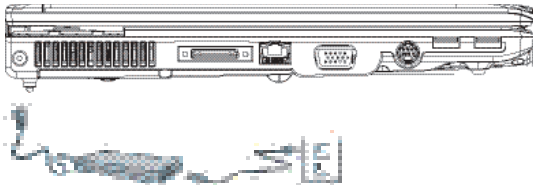
- 本製品のアダプタを他の装置に接続しないでください。
- 電源コードを踏みつけたり、重いものを上に載せたりしないでください。電源コードを人の通り道となるような場所に置かないでください。
- 電源コードをコンセントから外すときには、コードではなくプラグを持ってください。
- 延長コードをご使用になる場合は、そのコードに接続する全装置がコンセントの合計容量を越えないように注意してください。また、コンセントに接続する装置の合計がヒューズのアンペア数を超えないようにしてください。
- 電源コードをコンセントに接続する前に、電圧を確認してください。電圧数が不明な場合は、お近くの販売店または電力会社にお問い合わせください。

## 1.2 ACアダプタの接続

ACアダプタはAC電源をDC電源に変換し、コンピュータへ供給する電圧を低減します。ACアダプタは電圧を100Vから240Vに自動的に調整し、世界中ほぼ全域でこのノートブックを使用できるようにW566Nの場合、19V、4.74Aで電源出力します（W466U / W566Uの場合19V、3.42A）。

*注意：ACアダプタと電源コードは、弊社が推奨するものだけをご使用ください。それ以外のアダプタをご使用になると、コンピュータの故障の原因となる場合があります。ACアダプタの誤用による故障については、弊社は一切責任を負いません。*

アダプタを正しく接続するには、次の手順に従ってください。



1. 電源コードをACアダプタに接続します。
2. ACアダプタをコンピュータのDC電源ポートに接続します。
3. ACアダプタ電源コードをコンセントに接続します。

## 1.3 ノートブックの電源オン/オフ

### ▶ 電源を入れる ◀

ノートブックを開き、電源ボタンを1～2秒押してください。システムに電源が入ると、電源インジケータが青く点灯します。

### ▶ 電源を切る ◀

ノートブックをしばらく使用しない場合は、電源を切ってください。電源を切る前に、まずすべてのプログラムを閉じてオペレーティングシステムをシャットダウンします。

長時間ノートブックを使用した後であれば、コンピュータの電源を切った後はしばらくLCDパネルを開いたままにしておいてください。このようにすることによって、コンピュータ内部のパーツを冷却することができます。パネルを閉じるとLCDスクリーンに熱がこもり、このような状態が何度も続くとスクリーンが故障する場合があります。また、コンピュータの電源が入っている、または省電力機能が無効になっているときには、長時間LCDパネルを閉じたままの状態で放置しないでください。

### ▶ サスペンドモード ◀

デフォルトの電源管理設定は、[電源オプション/詳細設定]ダイアログボックスで調整できます。[電源オプション]ダイアログボックスでは、コンピュータがサスペンド状態になった後のいくつかの作動機能を設定することができます。

## 1.4 W466 / W566 デバイスドライバのインストール

W466 / W566 ノートブックコンピュータにすでにオペレーティングシステムがインストールされている場合は、ハードウェアが正しく作動するように必要なデバイスドライバすべてをインストールされるようお勧めします。

ドライバをインストールする前に、オペレーティングシステムとすべてのドライバがすでにインストールされているかどうかを販売店に確認してください。まだインストールされていない場合は、次の手順に従ってください。

1. 本製品には下図のようなユーティリティドライバCDが同梱されています。

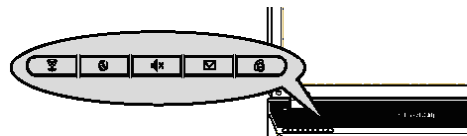


2. CDをCD R-またはDVD-RW (オプション) ドライブに挿入します。すると自己機能インストール画面が表示されます。

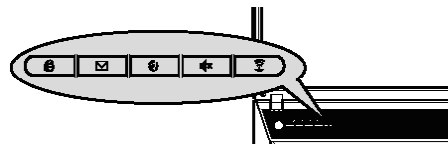
## 1.5 ラUNCHキーの使い方






ノートブックの左上にはインターネットや電子メールプログラム (Microsoft® Outlookなど) に簡単にアクセスできるボタンがあります。電源ボタンの横には5個のラUNCHキーがあります。

- ▶ W466ラUNCHキー



- ▶ W566ラUNCHキー














-  インターネット  
Internet Explorerブラウザが起動します。
-  電子メール  
電子メールプログラム (Microsoft® Outlookなど) が起動します。
-  ノイズ縮減  
ファンノイズを縮減します (サイレントモード)。
-  ミュート  
サウンド効果を無音にします。
-  ワイヤレス/Bluetooth  
ワイヤレス機能を有効にします。












## 1.6 キーボード機能

W466/W566 ノートブックには標準のタイプライター式キーボードと追加機能が装備されています。

### 基本的なキーボード

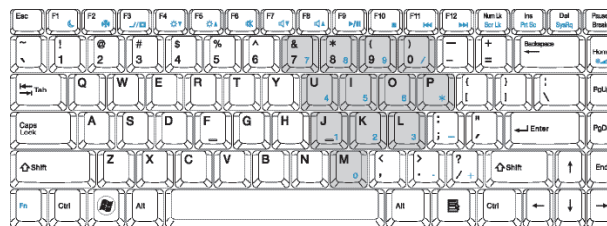
キーボード	機能
	<Enter> キーです。コマンドを実行します。多くのテキスト編集プログラムでは、<Enter> キーは改行を行います。
	<Esc> キーです。コマンドや機能をキャンセルします。
	<Ins> キーです。Insertキーのことです。文字挿入モードから文字上書きモードに切り替わります。
	<Fn>+<PrtSc> キーです。Print Screenキーのことです。スクリーン全体を共有メモリにマップします（スクリーンキャプチャ）。
	<Del> キーです。Deleteキーのことです。カーソルの右側にある文字、またはマークしたテキストやアイテムを削除します。
	N<Num Lk>、<Fn>+<Home> キーです。 ライトセンサーを有効/無効にします。まず <Num Lk> キーを押してください。Num Lockライト（電源ボタンの横）が点灯したら、<Num Lk> キーを放して <Fn>+<Home> を押します。
	<Pause> キーです。コマンドの実行を一時的に停止します。他のキーをどれでも押すと、コマンドが続行されます。

	<Shift> キーです。文字を合わせて使用したとき、大文字で入力されます。2 つの記号が表示されたキー（キーボードの 2 列目）と組み合わせて使用すると、キーの上部に表示された記号が入力されます。また多くのプログラムにおいて、他のキーと合わせて使用することによって、特定のコマンドを実行します。
	<Tab> キーです。カーソルを右側の次のタブに移動させます。このキーは普通のタイプライターと同じように機能します。
	<Ctrl> キーです。Controlキーのことです。多くのプログラムにおいて、他のキーと合わせて使用することによって、特定のコマンドを実行します。
	<Alt> キーです。Alternateキーのことです。多くのプログラムにおいて、他のキーと合わせて使用することによって、特定のコマンドを実行します。

	<Num Lk> キーです。15 キー数値キーボードを有効にします。
	<Fn>+<Scr Lk> キーです。多くのプログラムにおいて、カーソルを動かさなくてもスクリーンをスクロールします。キーは青い文字で表示されています。
	<Caps Lock> キーです。多くのプログラムにおいて、文字を常に大文字で表示します。
	上矢印キーです。カーソルを 1 行上に移動させます。
	下矢印キーです。カーソルを 1 行下に移動させます。
	左矢印キーです。カーソルを 1 スペース分左に移動させます。
	右矢印キーです。カーソルを 1 スペース分右に移動させます。
	<Home> キーです。カーソルをスクリーンまたは行の先頭に移動させます。
	<PgUp> キーです。カーソルを 1 スクリーン分上に移動させます。
	<PgDn> キーです。カーソルを 1 スクリーン分下に移動させます。
	<End> キーです。カーソルをスクリーンまたは行の最後に移動させます。

### 特殊機能キー

#### ▶ 埋め込み数値キーパッド ◀

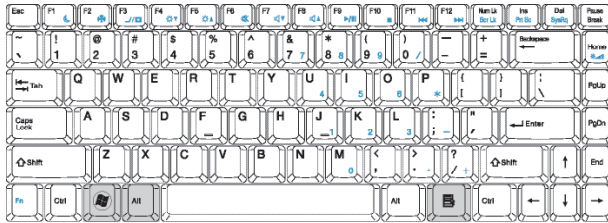


埋め込み数値キーパッドはデスクトップキーボードのものと同じように機能します。キーキャップの左上隅に小さい文字が記載されています。








任意入力	数値ロックオン	数値ロックオフ
埋め込みキーパッド上の数値キー	通常通りに数字を入力します	
カーソルコントロールキー/キーパッド	Shift キーを押しながらカーソルコントロールキーを使用します	Fn キーを押しながらカーソルコントロールキーを使用します
メインのキーボードキー	Fn キーを押しながらキーパッドに埋め込まれた文字を入力します	通常通りに文字を入力します

注意: 外付けキーボードやキーパッドをノートブックに接続している場合は、Numlockは自動的に内部キーボードから外付けキーボードまたはキーパッドにシフトします。

## ▶ Windowsキー ◀

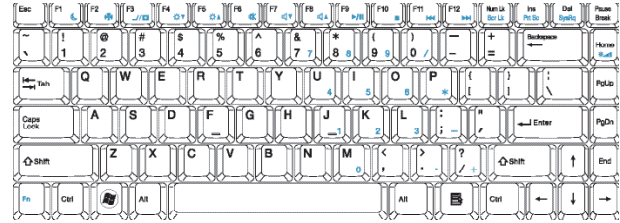


## キー 説明

 + [F1]	ヘルプとサポートを開きます
 + E	マイコンピュータを開きます
 + F	ドキュメントを検索します
 + M	すべて最小化します
 + Shift + M	すべて最小化を元に戻します
 + R	[ファイル名を指定して実行]ダイアログボックスを開きます
 + Tab	次のタスクバー ボタンを有効にします

## ▶ 基本的なキーボード ◀

文字、数字、句読点、特殊記号などを入力することができます。



## ▶ Fnキー ◀

Fnキーと別のキーを同時に押すことにより、通常のデスクトップキーボードのすべてのキーボード機能をシミュレートします。

[Fn]+[F1]	サスペンド スイッチ
[Fn]+[F2]	ワイヤレス機能を有効/無効にします
[Fn]+[F3]	LCDモニタとCRTモニタを切り替えます
[Fn]+[F4]	スクリーンの明度を上げます
[Fn]+[F5]	スクリーンの明度を下げます
[Fn]+[F6]	オーディオ ミュート
[Fn]+[F7]	オーディオの音量を下げます
[Fn]+[F8]	オーディオの音量を上げます
[Fn]+[F9]	メディアプレーヤーを再生/一時停止します
[Fn]+[F10]	メディアプレーヤーを中止します
[Fn]+[F11]	メディアプレーヤーを巻き戻します
[Fn]+[F12]	メディアプレーヤーを早送りします
[Fn]+[Esc]	Bluetooth機能を有効/無効にします

## 1.7 タッチパッドの使い方

タッチパッドは2 ボタン式マウスのすべての機能を備えた、感圧式ポインティングデバイスです。これは主にスクリーン上のカーソルを動かすために使用します。



タッチパッドは感圧式装置ですので、正しく使用しなければ故障する場合があります。次の点に注意してご使用ください。

- タッチパッドは常に清潔に保ち、液体や油をこぼしたりしないでください。
- 汚れた指でタッチパッドに触れないでください。
- タッチパッドやボタンの上に重いものを乗せないでください。

### ▶ クリック ◀

パッド上で指を動かし、アイテムにポインタを合わせて下にある左ボタンを1回クリックすると、そのアイテムが選択されます。またはタッチパッド上を1回タップしてください。

### ▶ ダブルクリック ◀

パッド上で指を動かし、アイテムにポインタを合わせて左ボタンを2回クリックすると、メニューアイテムが選択されます。またはタッチパッド上を2回タップしてください。

### ▶ ドラッグアンドドロップ ◀

パッド上で指を動かし、アイテムにポインタを合わせて下にある左ボタンを1回クリックすると、アイテムが選択されます。アイテムが選択されたら、タッチパッド上で指を動かすことによって、そのアイテムをドラッグすることができます（タッチパッド ボタンを2回クリックする速さは、通常のマウスをダブルクリックするときと同じ速さで行います）。

### ▶ スクロール ボタン ◀

ドキュメントをスクロールするには、スクロール ボタンを押しながらタッチパッド上で指を動かします。

タッチパッドの設定は[スタート]→[コントロールパネル]→[マウス]→[ボタン]で調整できます。ここでは右利き操作から左利き操作に切り替えるなど、タッチパッドの操作機能を変更することができます。またカーソル速度や、マウスクリックの応答時間も調整できます。



## 1.8 ストレージ

### ▶ハードディスク◀

この W466/W566 ノートブックには大容量の 2.5 インチIDEハードディスクドライブが搭載されています。オペレーティングシステムやソフトウェアは、ここに保管、インストールされます。フォーマット後は、内部ハードディスクは通常CDドライブとして名前が割り当てられます。

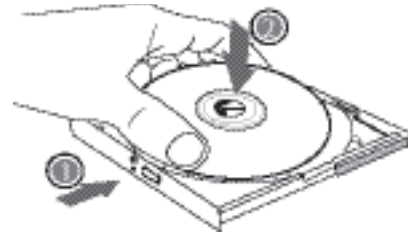
- ハードディスクを交換する場合は、ノートブックのハードウェア設定などに関する詳細については販売店へお問い合わせください。
- 標準のハードディスクドライブをより容量が大きいドライブに交換することによって、システムの保存容量を増加することができます。
- ハードディスクを取り外す前に、必ずコンピュータの電源を切ってください。そうしなければ、コンピュータとハードディスクが故障します。ハードディスクを完全に取り外すまでは、コンピュータを振動させたり、動かしたりしないでください。

### ▶光学ディスクドライブ (ODD)◀

この W466/W566 ノートブックにはDVD Super Multiの1 つが装備されています。

光学ドライブは通常オペレーティングシステムやソフトウェアをインストールするのに使用されます。ディスクの挿入と取り出し:

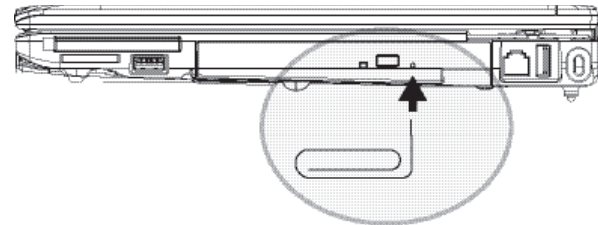
1. ドライブの手前にあるボタンを押すとディスクトレイが出てきますので、ゆっくりとトレイを引き出してください。
2. トレイにディスクのラベル面が上になるように挿入してください。
3. ディスクをスピンドル上に挿入し、ディスクがしっかりと収まるまで押してください。
4. トレイをスライドさせて元の位置に戻します。



**警告:** コンピュータが光学ディスクからデータを読み取っている間は、ODDのインジケータライトが点灯します。インジケータライトが点灯している間は、ディスクを取り出さないでください。

**警告:** ディスクトレイに異物を挿入しないでください。トレイを無理に開けたり、閉じたりしないでください。ドライブを使用していないときには、ドライブ内部にホコリやゴミが入らないようにトレイは閉じた状態にしておいてください。ディスクを取り出せない場合は、ペーパークリップなど先が尖ったものを緊急用イジェクトホールに挿入すると、ディスクトレイが出てくるはずですが、コンピュータの電源が切つてあるときにCDを取り出したいときにも、この方法で行います。

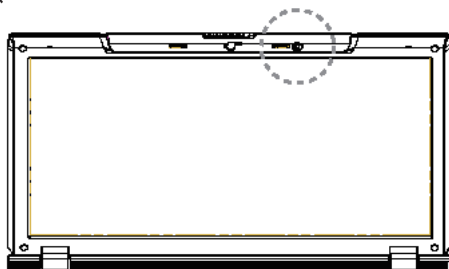
下図を参照してください。



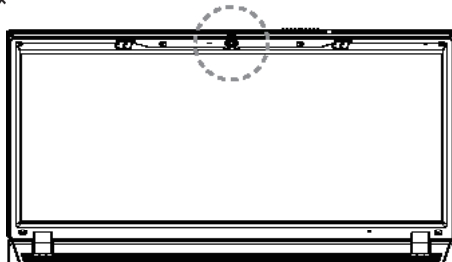
## 1.9 カメラ

この W466/W566 ノートブックにはカメラが内蔵されています。このカメラを使用すると、ビデオカンファレンスを行うことができます。このカメラはスナップショットを撮影するためのデジタルカメラ（最高解像度1.3メガピクセル）としても使用できます。

### ▶ W466カメ



### ▶ W566カメ



## 1.10 グラフィックディスプレイ

このコンピュータには今日のマルチメディア コンピューティングに対応できる、高性能グラフィックディスプレイ システムが搭載されています。

### ▶ スクリーンコントロール ◀

明るさ

モニタの明度を調整するには機能キーを使用します。

- <Fn> + <F4> : LCDパネルの明度を下げます。
- <Fn> + <F5> : LCDパネルの明度を上げます。

解像度

1. [マイコンピュータ] → [コントロールパネル] → [デスクトップの表示とテーマ] → [画面] をクリックします。 [設定] タブをクリックします。するとモニタの現在の解像度が表示されます。
2. [スクリーン解像度] からスライダーを使ってモニタの解像度を調整してください。通常はLCDモニタの仕様に応じた解像度を使用すべきです。

**注意:** スクリーンの仕様よりも低い解像度を使用すると、ディスプレイエリアが狭くなります。コンピュータをDOSモードで使用した場合も、デフォルトにより解像度が640 X 480 に設定されるため、同様の影響が出ます。

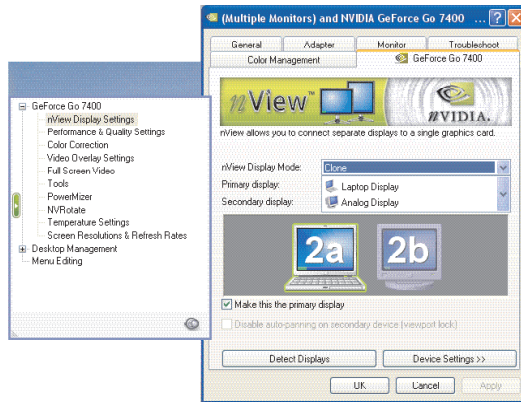
### ▶ デュアルディスプレイ ◀

Windows オペレーティングシステムでは、外付けモニタとノートブックのLCDスクリーンを同時に使用することができます。また外付けモニタか、LCDスクリーンのどちらか1つだけを使用することもできます。

1. [コントロールパネル]を開きます。
2. [画面]をダブルクリックします。すると[画面のプロパティ]ウィンドウが開きます。
3. [設定]タブをクリックします。
4. [詳細]ボタンをクリックします。

#### ■ W566N

[GeForce Go 8400]タブをクリックします。次に[nView Display Settings]を選択して調整を行います。



#### ■ W466U/W566U

[Intel Graphics Media Accelerator Driver for mobile]を選択します。  
[Graphics Properties]をクリックして調整を行います。



シングルディスプレイ (W566N および W466U/W566U)

シングルディスプレイ モードでは、プライマリディスプレイとして使用する装置を選択することができます。ビデオディスプレイ ホットキーも使用できます。Fn+F3 を繰り返し押すと、ビデオ出力を切り替えることができます。

クローン (W566N)

拡張デスクトップ (W466U / W566U)

クローン/拡張デスクトップ モードでは、ビデオディスプレイ ホットキーを使用できます。Fn+F3 を繰り返し押すと、ビデオ出力を切り替えることができます。外付けモニタが接続されている場合は、LCDと外付けモニタには同じものが表示されます。

デュアルビュー (W566N)

デュアルディスプレイ クローン (W466U / W566U)

デュアルビュー/デュアルディスプレイ クローン モードでは、拡張ディスプレイとして使用するモニタを選択することができます。デュアルビュー/デュアルディスプレイ クローン モードはドライバで操作します。ビデオ出力の種類は[メニュー]で調整します。このモードでは Fn+F3 キーを使ってビデオ出力を切り替えることはできません。

ヒント: 外付けモニタを使用する際、確実にビデオを表示するためには、まず [画面のプロパティ]ダイアログボックスで出力モードを変更しておいてください。出力モードを変更した後は、ビデオディスプレイ ホットキーを使用できるようになります。

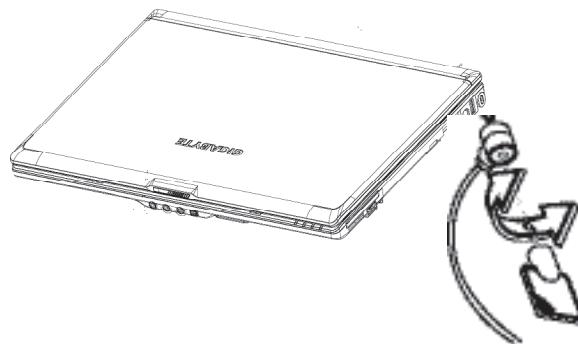
注意: LCDの製造上の特性により、LCDスクリーンに明るいスポットや暗いスポットが現れる場合がありますが、これはLCDスクリーンの正常な作動に影響を与えるものではありません。

## 1.11 W466/W566 ノートブックの保護

このW466/W566 ノートブックにはコンピュータを保護するために、ハードウェアおよびソフトウェアによるセキュリティロックが用意されています。

セキュリティロックの使い方:

セキュリティロック タブはコンピュータの右側にあります。このタブはケンジントン対応セキュリティロックを接続するためのものです。



## システム保護の使い方:

BIOS Setup Utilityにはコンピュータがオンになっているときにしか入ることができません。つまり電源を入れてから、Windows立ち上げ画面が表示されるまでの間に入ることができます。コンピュータの電源がすでにオンになっている場合は、コンピュータをリブートしてF2キーを押すとセットアップユーティリティに入ることができます。

## ▶ セキュリティメニュー ◀

## BIOS SETUP UTILITY

Main	Advanced	Security	Boot	Info	Exit
Supervisor Password	Clear			Item Specific Help	
User Password Is:	Clear				
HDD Password	Clear				
HDD Master ID	19893855			Supervisor Password controls access to the setup utility	
Supervisor Password	[Enter]				
User Password	[Enter]				
HDD Password	[Enter]				
Password on boot:	[Disabled]				
F1 Help ↑↓ Select Item -/+ Change Values F9 Setup Defaults ESC Exit← Select Menu Enter Select▶ SubMenu F10 Save and Exit					

## • Supervisor Password

User Passwordを設定するには、まずSupervisor Passwordを入力しなければなりません。[Change Supervisor Password]を選択した後、新しいパスワードを入力し、確認のためにもう一度同じパスワードを入力してください。パスワードはアルファベットか数字で6桁以内で設定してください。パスワードを間違えて入力してしまった場合は、Escキーを押すともう一度入力し直すことができます。

## • User Password

User PasswordはSetup Utilityで変更または削除することができます。ただしSupervisor Passwordを変更したり、削除したりすることはできません。またフロッピーディスクにアクセスすることもできません。

## • HDD Password

HDDパスワードを入力、変更、無効にすることができます。[Locked]と表示されている場合は、現在HDDパスワードを変更したり、無効にしたりすることはできないことを意味しています。これを変更または無効にするには、一度システムの電源を切り、再び電源を入れた後すぐにSetupに入ってください。  
\* HDDパスワードを使用する場合は、必ずパスワードを覚えておいてください。HDDパスワードを忘れてしまうと、サービスセンターではHDDを復元することができなくなります。

## • Password on boot

Password on bootを設定するには、まずSupervisor Passwordを入力しなければなりません。



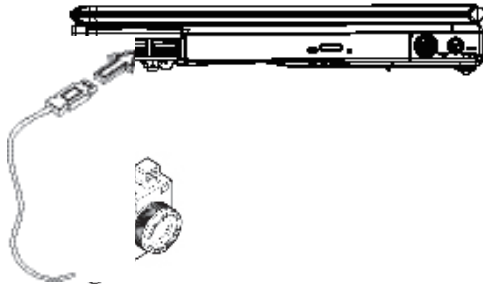
## 第2章 周辺機器の接続

この章では、周辺機器をこのノートブックに接続する方法を手順を追って説明します。

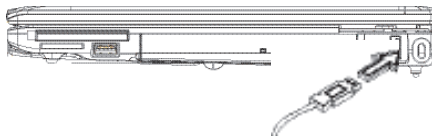
## 2.1 USBポートの使い方

USBポートは1 台のコンピュータで複数の周辺機器を使用することができます。USBポートに接続できる周辺機器には次のようなものがあります。フロッピーディスク ドライブ、マウス、デジタルカメラ、スキャナ、プリンタ、光学ディスクドライブ、キーボード、ゲーム装置、他。またUSBポートはハブや外付けワークステーションとしても使用できます。

### ▶ W466 USBポート



### ▶ W566 USBポート

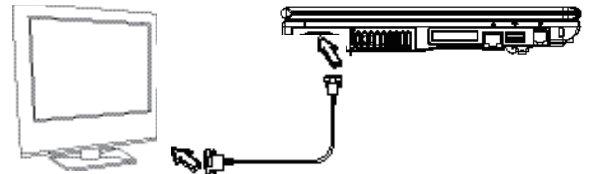


## 2.2 VGAポートを介して外付けモニタを接続する

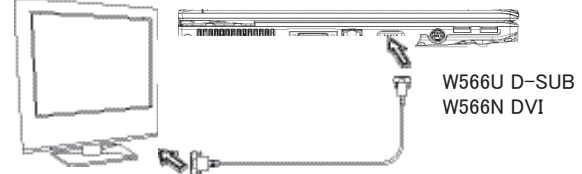
このノートブックには外付けモニタを接続するためのVGAポートが付いています。外付けモニタを接続するには、次の手順に従ってください。

1. コンピュータの電源をオフにして、モニタの電源もオフになっていることを確認してください。
2. モニタのコネクタケーブルをコンピュータの左側にあるVGAポートに接続します。同梱されているネジでケーブル接続を固定します。
3. モニタの電源ケーブルを接続して、適切に接地されているコンセントに差し込みます。
4. モニタの電源を入れます。
5. コンピュータの電源を入れます。LCDパネルとモニタスクリーンの画面が表示されます。このコンピュータはデフォルトにより、同時表示モードで起動するように設定されています。
6. LCDは使用せずに、外付けモニタ（CRT/LCD）にのみ表示したい場合は、<Fn> + <F3>ホットキーを使用してLCDとCRTを切り替えてください。ホットキーを繰り返し押し、外付けCRT/LCDにのみ表示されるように設定してください。

### ▶ W466 VGAポート

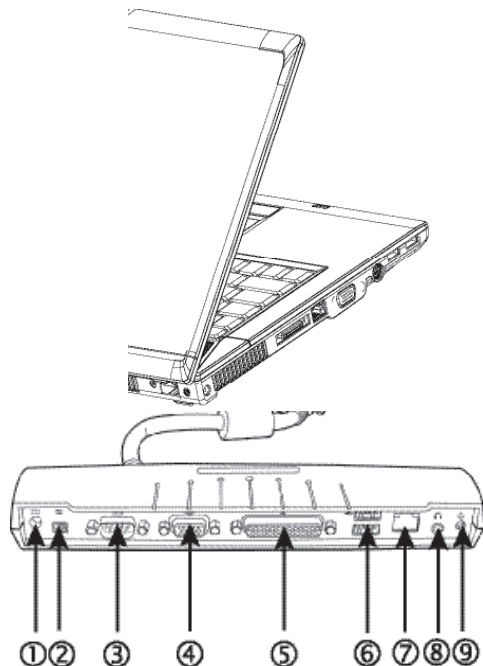


### ▶ W566 VGAポート



## 2.3 ポートレプリケータ コネクタの使い方 (W566のみ)

ポートレプリケータ コネクタには外付けポート レプリケータデバイス (オプション) を接続します。この外付け装置はご家庭でもオフィスでもワンステップで接続できる便利なソリューションです。



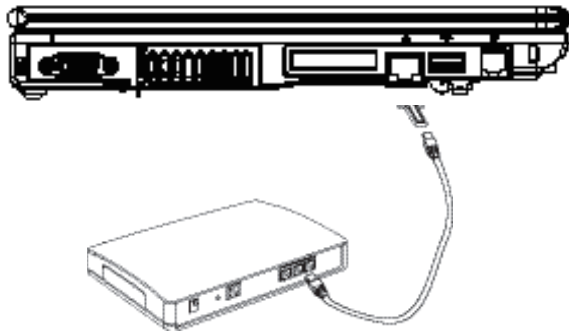
1. DC電源ポート  
ポートレプリケータに継続的に電源を供給するために、AC電源アダプタを接続します。
2. 1394ポート  
IEEE 1394装置を接続します。
3. シリアルポート  
「COMポート」とも呼ばれます。プリンタやスキャナなどのシリアルデバイスを接続します。
4. 外付けモニタポート  
外付けモニタを接続します。
5. パラレルポート  
「LPTポート」とも呼ばれます。プリンタなどの周辺機器を接続します。
6. USB V2.0ポート  
外付けゲームパッド、ポインティングデバイス、キーボード、スピーカーなどのUSBデバイスを接続します。
7. RJ45 10/100/1000Mbps Ethernet LANポート  
LANを介してノートブックと他のコンピュータ/ネットワークを接続します。
8. ステレオLine-outポート  
スピーカーセットやヘッドフォンを接続します。
9. 電源スイッチ  
ポートレプリケータの電源をオン/オフにします。



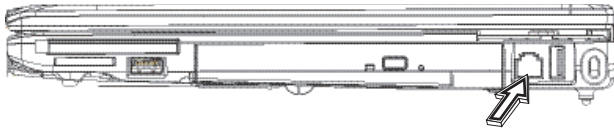
## 2.4 LANポートの使い方

1. ケーブルをネットワークコンセントかハブに接続します。
2. ケーブルのもう片端をコンピュータのLANポートに接続します。

### ▶ W466 LANポート



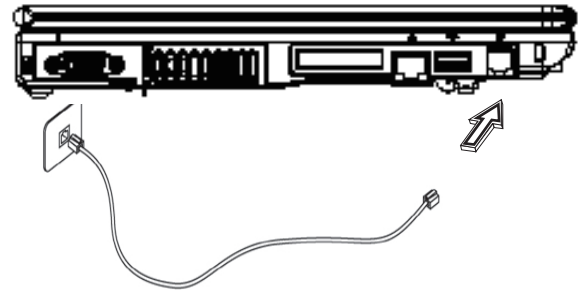
### ▶ W566 LANポート



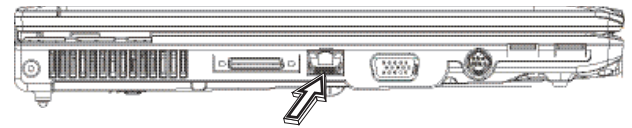
## 2.5 モデムポートの使い方

コンピュータに内蔵されているFAX/データモデムは電話回線と電話ジャックを接続します。

### ▶ W466モデムポート



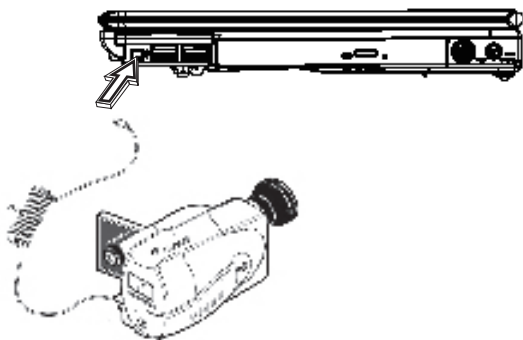
### ▶ W566モデムポート



## 2.6 IEEE 1394ポートの使い方

IEEE 1394ポートにはビデオ転送やデータバックアップを行うためのIEEE 1394対応周辺機器を接続します。Windowsオペレーティングシステムはデバイスを自動的に識別し、適切なドライバをインストールします。それでも、周辺機器に付いている専用のドライバをインストールされるよう推奨します。詳細は、ハードウェアの取り扱い説明書をお読みください。

### ▶ W466 1394ポート



### ▶ W566 1394ポート



## 2.7 PCI Expressカード/Newcard

PCI Expressカード（またはNewcard）スロットは、コンピュータと、ネットワークアダプタ、FAX/モデム、外付けストレージデバイスなどの各種通信装置の間のインターフェースとして使用することができます。

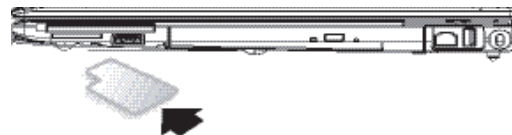
### ▶ カードの挿入 ◀

1. ラベルが付いている方を上にして、金属コネクタ側を先にして、カードをスロットに挿入します。
2. カードはしっかりと奥まで挿入してください。カードが奥まで挿入されると、それ以上は挿入できなくなります。
3. PCI Expressカードを使用するには、オペレーティングシステムが装置を使用できるようにドライバまたはプログラムをインストールする必要があります。Windowsにはすでに装置用のドライバが含まれているはずですが、まだインストールされていない場合は、ドライバをインストールするよう要求されます。

### ▶ W466 Newcardスロット



### ▶ W566 Newcardスロット



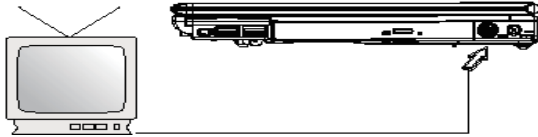
### ▶ カードの取り外し ◀

1. カードスロットのイジェクトボタンを押してイジェクトボタンを引き出し、次にもう一度イジェクトボタンを押すとカードを取り出すことができます。

## 2.8 Sビデオポートへの接続

この W466/W566 ノートブックには外付けTVセットを接続するためのSビデオポートが付いています。TVセットを接続するには、Sビデオケーブルを使用します。

### ▶ W466 Newcardスロット



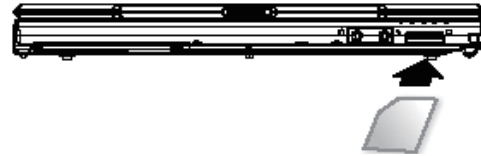
### ▶ W566 Newcardスロット



## 2.9 SD/MMC/MS/MS Proカード

マルチメディアカード スロットはノートブックの右側にあります。このスロットにはSD/MMC/MS/MS Proなどのカードを挿入できます。

### ▶ W466マルチメディアカード スロット



### ▶ W566マルチメディアカード スロット

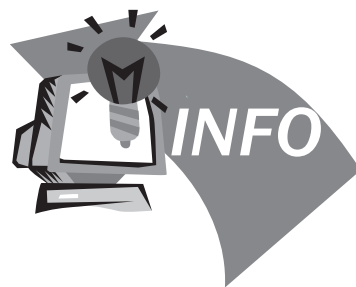


## 2.10 Bluetooth (オプション) とワイヤレスデバイスの使い方

この W466/W566 ノートブックはBluetoothとWi-Fiに対応する装置をサポートしています。ワイヤレス機能とBluetooth機能を初めて有効にする場合は、ノートブックの左側上部にあるワイヤレス ラUNCHキーを押してください。すると、Fn+EscキーでBluetooth機能だけを有効/無効にし、Fn+F2キーではワイヤレス機能だけを有効/無効にすることが可能になります。

\*\*\*\*コンピュータにBluetooth装置とワイヤレス装置を接続する方法については、ハードウェアの取り扱い説明書をお読みください。\*\*\*\*





## 第3章 トラブルシューティング

この章では、よく質問される技術上の問題と、その対応策について説明します。

### 3.1 よく聞かれる質問

- ◇ コンピュータがすぐにサスペンドモードに入ってしまう、キーを押したり、マウスを動かしたりして何度もスクリーンを呼び戻す必要があります。この場合はどうすればいいのですか？

これはWindowsの省電源管理で行う設定です。[スタート]→[コントロールパネル]→[パフォーマンスとユーティリティ]→[電源オプション]をクリックして省電力管理機能に入り、[モニタの電源を切る]オプションの横で時間を設定し直してください。電源に接続する場合と、バッテリーを使用する場合のいずれかの時間を調整できます。

- ◇ ハードディスク上のファイルを削除したり、整理したりするとプログラムを立ち上げるときの速度が速くなると聞きました。これはどのようにして行うのですか？

ディスクを良い状態に保つことによって、プログラムの立ち上げ時間を短くすることができます。不要なファイルを削除したり、ハードディスクをデフラグしたりすることにより、ファイルを効率良くまとめておくことができます。Windowsには不要なファイルを削除するためのDisk Cleanup、ファイルブロックをデフラグするためのDisk Defragmenterなどのユーティリティが備わっています。これらのユーティリティについての詳細は、Windowsの説明書をお読みください。

- ◇ 内部FAX/モデムのダイヤルトーンが低すぎます。ボリュームを上げるにはどうすればいいのですか？

[スタート]→[コントロールパネル]→[サウンド、音声、オーディオ デバイス]を選択し、[デバイスの音量]でボリュームバーを使ってスピーカーの音量を調整してください。

- ◇ このノートブックで使用できる外付けマイクロフォンの種類を教えてください。

自己拡大型のマイクロフォンを使用する必要があります。

- ◇ スピーカーからのサウンドにエコーがかかります。この場合はどうすればいいのですか？

タスクバー上のスピーカー アイコンをダブルクリックします。次に[マイクロフォンバランス]で[ミュート]ボックスにチェックマークを付けてください。

- ◇ ソフトウェアの問題により、Windowsからコンピュータをシャットダウンすることができませんでした。そこで電源ボタンを押してコンピュータをオフにしようとしたが、これもできませんでした。電源を強制的にオフにするにはどうすればいいのですか？

電源ボタンを4秒以上押し続けてください。通常はこれでコンピュータがシャットダウンするはずですが。

- ◇ しばらくコンピュータを使用しなかった後は、ノートブックのバッテリーを充電することができません。

ノートブックを長時間使用しない状態が続くと（1ヶ月以上）、バッテリーは低電圧保護モードに入ります。このような場合は、数時間かかってバッテリーをゆっくりと充電することにより通常の電圧に復元することができます。バッテリーが完全に充電されたら、コンピュータは通常の操作モードに戻ります。

- ◇ コンピュータに「CMOS Battery Low」というメッセージが表示されました。何をすべきですか？

コンピュータを45日以上使用しない状態が続くと（コンピュータの電源をコンセントから抜き、バッテリーパックも外しておいた場合）、CMOSに保管されていた情報は失われます。

次の手順に従って、CMOS設定を再構成してください。

1. F2キーを押してBIOS Setup Utilityに入ります。
2. 「Load Optional Defaults?」を選択します。次のプロンプトが表示されたら<OK>を選択し、<Enter>を押します。
3. 「Save Changes and Exit」を選択した後、<OK>を選択して<Enter>を押すとコンピュータが再起動します。

- ◇ デバイスを取り外したり、取り出したりするには

1. タスクバーの通知エリアにある[ハードウェアの取り外しまたは取り出し]アイコンをダブルクリックします。すると現在システムに接続されているプラグアンドプレイ装置がリストされます。[ハードウェアの取り外しまたは取り出し]アイコンが表示されない場合は、装置がこの機能に対応していないことを意味しており、この機能を使ってデバイスを取り外したり、取り出したりすることはできません。
2. [ハードウェアの取り外し]にリストされているデバイスの中から取り外したいデバイスを選択し、[停止]をクリックします。するとそのデバイスが取り外されることがシステムに通知されます。
3. [ハードウェアの取り外し]で[OK]をクリックします。するとデバイスを安全に取り出すことができることを知らせるメッセージが表示されます。

ご使用上の注意:

デバイスの取り外しアプリケーションを使用せずに、この機能に対応したデバイスを取り外すと、データが失われたり、システムが不安定になったりすることを知らせるメッセージが表示されます。例えば、データ転送中にデバイスを取り外すと、データが失われるのと同じ原理です。デバイスの取り外しアプリケーションを使用すると、デバイスを取り外すことをシステムに警告することにより、データの消失を防止することができます。

注意

システムが作動している間であっても安全に取り外せるリムーバブルストレージについては、デフォルトによりシステムが書き込みキャッシングを無効にします。このようにすることにより、データを消失することなくデバイスを取り出すことができます。書き込みキャッシングが無効になると、システムの性能が低下しますので、デバイスを取り外した後は書き込みキャッシングが有効になっていることを確認してください。



## 付録A W466の仕様

ここでは W466/W566ノートブックコンピュータのテクニカル仕様およびハードウェア仕様を紹介します。ここに記載される情報は、お客様が実際に購入された製品の仕様とは完全に一致しない場合があります。仕様は将来予告なく変更される場合があります、現在のマニュアルの内容も変更される場合があります。



### マイクロプロセッサ

- Intel® Merom® Dual Core Processor T7100~7800
- Intel® Celeron® M Processor 540~550

### L2キャッシュ

- Intel® Merom® Dual Core Processor T7300~7800 (L2キャッシュ4MB)
- Intel® Merom® Single Core Processor T7100~7250 (L2キャッシュ2MB)
- Intel® Celeron® M Processor 540~550 (L2キャッシュ1MB)

### コアロジック

- Intel® GM965/ ICH8M

### メモリ

- 512MB~最高4GB 667/800MHz DDR2 SDRAMまで (SODIMMメモリスロットx2使用)
- フラッシュROM BIOS: 1MB

### データストレージ

- SATAハードディスク, 5400 rpm, 60GB/80GB/100GB/120GB/180GB/200GBの中から選択可
- モジュール式5.25"/12.7mm slim Super Multi x1
- 4-in-1 SD/MMC/MS/MS PROカードリーダー

### グラフィック

- Intel® Graphics Media Accelerator (GMA)

### ディスプレイとビデオ

- 14.1" TFT-LCD, WXGA (1280x800)、グレアタイプ
- LCDとCRTの同時ディスプレイ対応
- デュアル単独ディスプレイ

### 接続

- 10/100 Mbps Fast Ethernet接続統合
- 56Kbps V.92 FAX/データモデム搭載
- USB 2.0ポート x3
- デュアルバンド アンテナWLAN Intel® PRO/Wireless 3945ABG, IEEE 802.11a+b+g (オプション)

- デュアルバンド アンテナWLAN Intel® PRO/Wireless 4965AGN, IEEE 802.11a+g+n (オプション)

### オーディオ

- 高品質オーディオ (Alzalia)
- 2ステレオスピーカーDual Array Microphone搭載
- ヘッドフォン出力とマイクロフォン入力用の専用ポート

### キーボードとポインティングデバイス

- 86キー US/87キー EU/90キー JP (Windows機能キー付き)
- スクロール機能付きエルゴノミクス タッチパッド ポインティングデバイス

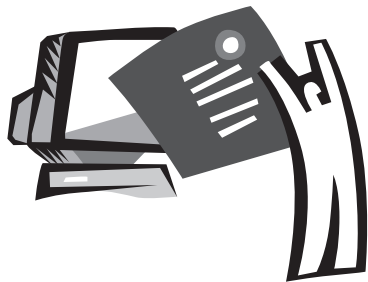
### I/Oポート

- IEEE 1394ポートx1
- RJ-11電話ジャック (V.92, 56Kbpsモデム) x1
- RJ-45ネットワークジャック x1
- DC-inジャック (ACアダプタ) x1
- VGAポートD-SUB x1
- スピーカー/ヘッドフォン出力ジャック (3.5mmミニジャック) x1
- MIC-inジャック (3.5mmミニジャック) x1
- USB 2.0ポート x3
- PCI Expressカード x1
- Sビデオポート x1

### 寸法と重量 (バッテリーと光学ドライブを含む)

- 14.1" ディスプレイモデル: 約2.48kg
- 336(幅)x236(奥行き)x26.5~34(高さ) mm

電源: 65W ACアダプタ, 19V 3.42A



## 付録B W566の仕様

ここでは W466/W566 ノートブックコンピュータのテクニカル仕様およびハードウェア仕様を紹介します。ここに記載される情報は、お客様が実際に購入された製品の仕様とは完全に一致しない場合があります。仕様は将来予告なく変更される場合があります、現在のマニュアルの内容も変更される場合があります。

### マイクロプロセッサ

- Intel® Merom® Dual Core Processor T7100~7800
- Intel® Celeron® M プロセッサ 540~550

### L2キャッシュ

- Intel® Merom® Dual Core Processor T7300~7800 (L2キャッシュ4MB)
- Intel® Merom® Single Core プロセッサ T7100~7250 (L2キャッシュ2MB)
- Intel® Celeron® M プロセッサ 540~550 (L2キャッシュ1MB)

### コアロジック

- Intel® PM965/ICH8M (W566N)
- Intel® GM965/ICH8M (W566U)

### メモリ

- 512MB~最高4GB 667/800MHz DDR2 SDRAMまで (SODIMMメモリスロットx2使用)
- フラッシュROM BIOS:1MB
- Intel® Turboメモリ (オプション): 512MBまたは1GB

### データストレージ

- SATAハードディスク, 5400 rpm, 60GB/80GB/100GB/120GB/180GB/200GBの中から選択可
- モジュラー式5.25"/12.7mm slim DVD-COMBO/DVD-Dual/Super Multi x1
- 4-in-1 SD/MMC/MS/MS PROカードリーダー

### グラフィック

- nVIDIA® GeForce Go 8400 256MB (W566N)
- Intel® Graphics Media Accelerator (GMA) (W566U)

### ディスプレイとビデオ

- 15.4" TFT-LCD, WXGA (1280x800)、グレアタイプ
- LCDとCRTの同時ディスプレイ対応
- デュアル単独ディスプレイ

### 接続

- 10/100/1000 Mbps Fast Ethernet接続統合
- 56Kbps V.92 FAX/データモデム搭載
- USB 2.0ポート x4
- デュアルバンド アンテナWLAN Intel® PRO/Wireless 3945ABG, IEEE 802.11a+b+g (オプション)
- デュアルバンド アンテナWLAN Intel® PRO/Wireless 4965AGN, IEEE 802.11a+g+n (オプション)

### オーディオ

- 高品質オーディオ
- 2ステレオスピーカーDual Array Microphone搭載
- ヘッドフォン出力とマイク入力用の専用ポート

### キーボードとポインティングデバイス

- 86キー US/87キー EU/90キー JP (Windows機能キー付き)
- スクロール機能付きエルゴノミックス タッチパッド ポインティングデバイス

### I/Oポート

- IEEE 1394ポート x1
- RJ-11電話ジャック (V.92, 56Kbpsモデム) x1
- RJ-45ネットワークジャック x1
- DC-inジャック (ACアダプタ) x1
- VGAポートDVI(W566N) またはD-SUB(W566U) x1
- スピーカー/ヘッドフォン出力ジャック (3.5mmミニジャック) x1
- MIC-inジャック (3.5mmミニジャック) x1
- USB 2.0ポート x4
- PCI Expressカード x1
- Sビデオポート x1

### 寸法と重量 (バッテリーと光学ドライブを含む)

- 15.4" ディスプレイモデル: 約2.76kg (W566N), 2.72kg (W566U)
- 355(幅)x254.5(奥行き)x25.5~35.5(高さ) mm

電源: 90W ACアダプタ, 19V 4.74A (W566N)

65W ACアダプタ, 19V 3.42A (W566U)



## 付録C サービスセンター

以下にこの W466/W566 ノートブックコンピュータのグローバル サービスセンターをリストします。

**台湾 (本社) GIGA-BYTE TECHNOLOGY CO., LTD.**

アドレス: No.6, Bau Chiang Road, Hsin-Tien, Taipei 231, Taiwan  
 TEL: +886 (2) 8912-4888  
 FAX: +886 (2) 8912-4004

## お問い合わせの方法

テクニカル: GIGABYTE製品の使用方法についての問題  
 その他: セールスおよびマーケティング

Web サイト (英語): <http://www.gigabyte.com.tw/>  
 Web サイト (繁体字中国語): <http://www.gigabyte.tw/>

**米国 G.B.T. INC.**

TEL: +1 (626) 854-9338  
 FAX: +1 (626) 854-9339  
 Web サイト: <http://www.gigabyte.us>

**日本 NIPPON GIGA-BYTE CORPORATION**

TEL: +81-3-5791-5438  
 FAX: +81-3-5791-5439  
 Web サイト: <http://www.gigabyte.co.jp/>

**中国 G.B.T. TECH. TRADING CO., LTD.**

Shanghai  
 TEL: +86-21-63410999  
 FAX: +86-21-63410100

GuangZhou  
 TEL: +86-20-87586074  
 FAX: +86-20-85517843

Beijing  
 TEL: +86-10-62102838  
 FAX: +86-10-62102848

Chengdu  
 TEL: +86-28-85236930  
 FAX: +86-28-85256822

Wuhan  
 TEL: +86-27-87851061  
 FAX: +86-27-87851330

Xian  
 TEL: +86-29-85531943  
 FAX: +86-29-85539821

Shenyang  
 TEL: +86-24-23960918  
 FAX: +86-24-23960918-809

Web サイト: <http://www.gigabyte.com.cn/>

**Russia**  
 Moscow Representative Office Of Giga-Byte Technology Co., Ltd.

Web サイト: <http://www.gigabyte.ru/>

